令和３年２月７日執行

福津市長選挙

選挙公報

投票日　令和３年２月７日

福津市選挙管理委員会

その一票が このまちの 未来をきめる

投票時間　午前７時から午後８時

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。）

新型コロナ対策等への財源確保策として

市長給料月額85万円を5割カット

4年間で約2,600万円※の財源を確保します！

※期末手当を含む

市役所に新型コロナ対策専門部署をつくり、スピーディーに対応します。

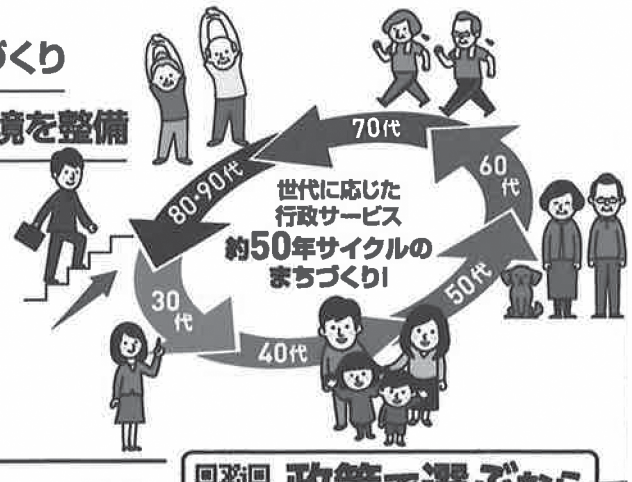
もっと良くなる、新しい福津。

―安心して住み続けられる市であるために―

小田ゆきのぶ

58歳 無所属

- ☑高齢者が安心して暮らせる仕組みづくり
- ☑必要な小中学校を早期建設、教育環境を整備
- ☑経済と人の好循環をつくる
- ☑団地再生と地域拠点整備を推進
- ☑市民と行政をつなぐ情報共有の推進
- ☑街灯整備で明るいまちへ



略歴　1963年（昭和38年）生まれ。福津市出身。佐賀大学理工学部卒。
1988年福間町役場入庁、福津市役所に移行後2020年9月退職。

政策で選ぶなら
←詳細は公式サイトでご覧ください

原崎ともひと

50歳　無所属

真価の二期目へ　10の約束

私、原崎ともひとは、コロナ対策に全力を尽くします。地方創生を加速し、SDGs（持続可能な発展）未来都市にふさわしいまちを実現するために、次の通り約束します。

1　経済・産業が元気なまち

地域商社「福津いいざい」や飲食店が、地元の農水産物を商品化したり、魅力的な情報が発信できるよう応援します。循環型の第一次産業の育成を支援します。耕作放棄地の解消と基盤整備をすすめます。海岸と夕陽、津屋崎千軒、唐津街道畦町宿、世界遺産などの観光資源を生かした地域活性化策をすすめます。

2　災害に強いまち

福津市防災マニュアル、ハザードマップの見直しを行います。郷づくり、自治会、消防団、防災推進員などの連携を強化し、公式ラインの活用などで情報発信を拡大していきます。ゲリラ豪雨などに備え、雨水管理総合計画を整備します。避難所での受け入れについては、冷暖房が完備した小中学校の教室を活用するなど、コロナ対策も徹底します。

3　孤立させない共生のまち

高齢者や障がい者など生活支援が必要な人たちを誰もが支える、共生社会の形成をすすめます。自治会単位の福祉会などが、見守り、ゴミ出し、買い物支援などの共助活動ができるよう支援します。

4　子育て世代がほっとするまち

子育て世代包括支援センターを中心として、安心して出産でき、ゆとりをもって子育てができるしくみを充実させます。子育て支援センターをはじめとする子どもの居場所や遊び場を充実させます。家庭・児童問題の相談窓口を充実させます。

5　都市計画（マスタープラン）に定めた市内3拠点の整備

［津屋崎地区］津屋崎千軒の上質なまちなみを保存し、活用をすすめます。
［東福間駅周辺地区］東福間駅周辺の再開発の実施計画を予算化し、着手していきます。
［福間駅周辺地区］宮司口周辺地区への創業支援を続け、無電柱化により歩道を拡幅し、駅前通りから駅へのアクセスを改善します。

6　教育環境整備

福間小・福間南小の超過密状態解消に向けて、当該小学校の児童が、児童数が少ない小学校に通えるようにするなど、教育環境の改善に早急に取り組みます。その上で手光地区に、公共施設も活用した、防災の拠点ともなる小学校の設立を目指します。

7　力強い行政組織を構築

経営感覚を備え、市民とともに課題に立ち向かう、自律した行政組織を実現します。

8　地域コミュニティの検証

郷づくり推進協議会の課題を受け止め、その役割を深化させ、さらに共働を押しすすめます。再編が必要であれば、共助を念頭に置き、前向きに検討します。

9　豊かな自然を保全

福津市の自然景観のシンボルである、海岸と松林、津屋崎干潟、里山、竹尾緑地などの保全活動を、全市を挙げた取り組みとなるよう連携を図ります。

10　原崎ともひとは二期目も進化します

原崎（はらさき）ともひと　昭和45年7月4日生まれ。実家は花見が丘3丁目、若木台3丁目在住（妻、子2人）。福間小入学、福間南小卒業。福岡教育大学附属福岡中学、福岡高校、早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。私立高校講師（世界史・地理）。知的障碍者・発達障碍者入所施設（福津市奴山）支援員。平成23年1月から福津市議会議員として市民福祉委員会委員長、議会広報調査特別委員会委員長も務める。平成29年3月、福津市長就任。全国青年市長会監事、福岡県道路協会理事など歴任。

（この選挙公報は、候補者から提出された原稿を写真にとってそのまま印刷したものです。）

永島あかきず

64歳　無所属

自民党推薦

な。

寄（よりそう）添う

信頼のリーダーシップ

伝える。
まちづくりのビジョンと計画を市民目線でわかりやすく発信します。

決める。
優先順位を見極めて決定し、結果に責任を持ちます。

実行する。
職員や市民との信頼関係を築き、福津ワンチームの力を引き出します。

要配慮者に寄り添って
安全安心のまちづくり

- 中央公民館を活かした高機能防災センターの整備を行い、各避難所との連携強化を図ります。
- 市役所、郷づくり、自治会や消防団、防災士会、防災推進員との連携を図ります。
- 高齢者、障がい者、乳幼児家庭などの方が事前避難できる仕組みをつくります。
- 防災ラジオの全戸配布に向けた支援を行います。

☞ ネットワーク型防災体制の実現

地元事業者に寄り添って
地域経済の活性化

- 優良企業を誘致して自立した財政運営を目指します。
- 持続可能な農林水産業の生産・供給体制を確立させます。
- 官民連携での雇用創出・コワーキングスペースなどの空間づくりを推進します。
- 地域課題をビジネスで解決する起業家・後継者を育成します。

☞ 元気な事業者が集うまちの実現

全ての市民に寄り添って
健康で活き活きと暮らせるまち

- 若者と高齢者がともに支え合う地域づくりを目指します。
- 障がい者の働く場所や居場所づくりに積極的に取り組みます。
- さまざまな世代が交流できる活き活きとしたコミュニティづくりを目指します。

☞ みんなが暮らしやすいまちの実現